

決算報告書・予算書について

学校法人千葉敬愛学園(敬愛大学・千葉敬愛短期大学・敬愛学園高等学校・千葉敬愛高等学校・千葉敬愛短期大学附属幼稚園)では、「私立学校法」に基づき「私立学校会計基準」に従って会計処理が行われています。この会計方式では予算を中心に考え、差異を表す場合には予算を軸として表記しています。

「敬愛大学教育後援会」では、学校法人千葉敬愛学園が経営する敬愛大学の外郭団体として、学校法人千葉敬愛学園が取り入れている会計基準にあわせて、平成 17 年度から決算報告書・予算書を作成しています。このため、一般的な決算報告書・予算書と表記方式が異なりますので、下記事項を考慮のうえ議案書をご覧ください。

【平成 21 年度決算報告】

この決算報告書は平成 21 年度補正予算(A)を軸として、差異欄(C)を「補正予算額(A)－決算額(B)」で表しています。そのため「収入の部」ではプラス額(無印)は予算に対する過不足、マイナス額(△印)は予算を超えた過収入となります。また「支出の部」ではプラス額(無印)は予算に対する残額、マイナス額(△印)は予算を超えた過支出となります。

【平成 22 年度予算案】

この予算書は平成 21 年度補正予算を軸として、増減欄は「平成 22 年度予算額(b)－平成 21 年度補正予算額(a)」で表しています。「収入の部」「支出の部」とも、プラス額(無印)は昨年度に比べて予算が増加した金額です。またマイナス額(△印)は昨年度に比べて予算が減少した金額です。

以上